

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	音楽基礎B4（音楽理論）		
<b>科目基礎情報</b>						
開設学科	ミュージックアーティスト科	コース名	プレイヤーコース	開設期 後期		
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数 30時間		
単位数	2単位			授業形態 講義		
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。					
<b>担当教員情報</b>						
担当教員	金澤法皇、末光篤	実務経験の有無・職種	有・音楽講師、理論書出版・ミュージシャン			
<b>学習目的</b>						
音楽理論の基礎をしっかりと身につける。記号の書き方、音符の長さなどの基本から、スケール、音程までは最低でもしっかりと理解し、楽譜をきっちりと読めるようにする。また、自身の曲を書く学生は、自身の曲の譜面を書けるようにする。						
<b>到達目標</b>						
様々な基本用語を覚え、実際の実習で活かせるようにする。また、様々な手法を駆使して、自身のオリジナル楽曲にいかせるようにする。既存曲も自分で楽曲分析を出来るようにする。						
<b>教育方法等</b>						
授業概要	なるだけ少人数制のグループで丁寧に授業を進めていく。授業開始にはならず復習の小テストを行い、何度も繰り返し行う事によって、徹底して理解させる。理論の理解を深め定着させていく。					
注意点	理解度の高い学生と、そうでない学生との差が大きいため、上手くそれぞれに合わせた授業内容で進めていく。理解できていない学生には別途、個人レッスンをおこない、とりこぼしのないように進めていく。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。					
評価方法	種別	割合	備 考			
	試験・課題	30%	試験と課題を総合的に評価する			
	小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	レポート	20%	授業内容の理解度を確認するために実施する			
	成果発表 (口頭・実技)	30%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する			
	平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する			
<b>授業計画（1回～15回）</b>						
回	授業内容	各回の到達目標				
1回	セカンダリー復習1	セカンダリーの使用方法を楽曲分析にて理解させる				
2回	セカンダリー実習2	実際の学生の曲にセカンダリーを入れてみる				
3回	セカンダリーの効果	在る場合とない場合との違いを考察しながら、入れるポイントを理解する(2-5進行等)				
4回	クリシェについて	クリシェおよびその使用方法を分析にて理解させる				
5回	カノン進行	既存曲を用いてカノン進行を理解する				
6回	J-POP進行	J-POPに良く用いられるいくつかのコードパターンを実際に使ってみる				
7回	チャーチモード	モードについての理解、その使用方法等について理解する				
8回	テスト	後期試験を見据えた中間テストで理解を含める				
9回	アナライズ	様々なコードパターンを含む楽曲をアナライズする				
10回	学生が選曲するアナライズ	学生から公募しタ楽曲をアナライズする				
11回	アボイドノートについて	アボイドを用いたいくつかの例を挙げてその解説を行う				
12回	作曲	8小節のケーデンス内でセカンダリーを用いた作曲をする				
13回	作曲(コードパターン)	8小節のケーデンス内でクリシェ、カノン進行を用いた作曲をする				
14回	発表	作曲したものを作曲内で発表する				
15回	後期まとめ	後期テスト				